

日刊 發行兼編輯人 川崎文台 本社下町番地 (電話六三〇番)

常新新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元 外埠加郵費

零售 每份五分

電話六三〇番

刊夕日二十月一十

吉例惠比壽 講大賣出し

十一月十二日 三日間

十一月十四日まで

三井呉服店 電話三十八番 電話七百五十一番

御祝儀物数々 尚ほ 福助足袋製 品を今回特に當地代理 店の対抗し皆々様 の御便宜に供し申候 世界に冠たる優良品を多量 に製産する 福助足袋 會社製品

黒朱子 四十七錢
白キヤラコ 三十五錢
絹天足袋 四十七錢
小町三丁目

中野呉服店 (電話六十七番)

坊ちゃん嬢の御好の品を陳列した

毛糸マント
毛糸服下着
毛糸チヨッキ
毛糸シャツ
毛糸股引
ラシャ服新形
毛糸メリヤス
アンダーシャツ

ツルヤ 平四丁目 電話百四十

本秋流行の粋を網羅せる

一、毛スリン 陳列會
何卒御覽下さい

常 警 論 壇

景氣の根柢 (5)

經濟學博士 太田正孝氏述

又鐵の部へ行つて見ると、大きな鐵を切つて試驗をして居る。例へば軍艦の横腹に鐵砲彈丸が的。さうして鐵を破る其の試驗であるが、其の研究の結果に依つてどう云ふ鐵を鑄たら宜いかと云ふ事を知るのである。又木材に就ても其の通り、建築に使ふ材料はどうか云ふものが宜いか、細かい究をドン／＼實業界に出して居る。科學的の力を持つて來て工業の基礎を立てましたが故に、獨逸はドン

の熱度に溶けるか、又どう云ふ種類の繪具を使つて描いたものかと云ふ研究をして居る。斯く科學を應用してやつて居る。工業に就ては特にさう云ふ點が現はれて居る。商業に就ては戰前カイゼルは外交官並に司法官、工務官等に向つて、『汝等は朕の番頭と心得べし』と云ふ言葉を使はれて居るのであります。皆さん方が若し御注意なさるならば東京の電車とか汽車の中で、日本語を話して居る外國人ありと假定したならば其の多くは獨逸人だらうと思ひます。(つづく)

夜良く寝れぬ人
ごうも頭がボンヤリする人
老衰を嘆く人
記憶減退の人
性力弱き人

脳と生殖器の藥

エキスピ

特約店 平町田町 宗匠美藥局 電話五五一番

大衆向の實用腕時計

拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾

型 貳 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾

入 石 入 石 入 石 入 石 入 石 入 石

銀側拾貳型パリス拾石入 勞働用に丈夫一式 特價 五圓九拾錢

大谷時計病院 平町三丁目 (電話一九番)

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭

大炭礦ナル

◎石炭トノ特長

一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速

三、配達ノ迅速

レ一度使へば永久ニ使へ下サルノガ當店石炭ト「コークス」ノ特長

値安正十貫目 一俵 金六十五錢也

中 驛 前

◎阿部石炭商店 (電話二三七番)

磐城共濟病院

△往診 何時にても致します

△入院 料 金貳圓參拾錢也 附付 一般患者 一日 金貳圓八拾錢也 附付

△看護婦募集す

▲內科 院長 醫學博士 新井 寬治

▲外科 皮膚泌尿科 部長 木村 淳

▲産婦人科 部長 野秋 善直

▲衛生試驗部 (理化學的検査) 主任 醫學博士 新井 寬治

▲藥劑部 部長 吉本 孝平

▲共濟會員 診察 無料

▲病棟 醫師 賀澤 忠治

▲病棟 醫師 賀澤 忠治

カキ貝御料理

強烈なる滋養ト美味を以て 例年御期待下さる

十一月一日より相始め

カキフライ 一人前 三十錢
カキなべ 同 五十錢
カキよせなべ 同 五十錢
スガキ 同 廿五錢

洋式宴會 仕出し

の 井

電話一六七番

外科 専門

入院應需

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

増築計畫等は

自分には判らぬ

是れが佐藤助役の御詫言
けふ區長連が憤慨

平町小學校増築問題に關し各區長は可否の態度を決せんが爲め先づ五名の委員を擧げ町是調査會の委員を歴訪して意見を徴する事になつたは

昨報の

如くであるが五名の委員は昨日井上茂作、佐々木龍若、青沼鋒太郎、佐藤芳松の各氏を訪問本日午後一時より山本屋旅館にて協議會を開き右の結果を報告する事になり更に町當局の主張を聞かんと

折悪し

伏見町長が不在の爲め佐藤助役に説明を求めたるに『増築計畫は自分にはよく判らない』との返答に荷くも此の平町の重大問題を町理事者が知らぬとは何事だこんな事では町の進展を圖る事が出来るかと憤慨一方ならざるもあつたと

石城校長會議

十五日開催

石城郡内各小學校校長會議は十五日平第一小學校に於て開催され、過般東京に開催された全國中等學校校長會議にて決定された入學試験制度撤廢による入學採用方法について協議をなす事になつた

職業別人口

平町の商業が最も多い

石城郡各町村は目下縣の指令によつて町村の戶數人口職業別その他に亘つて詳細調査中だがこれによると町現在の人口は二萬五千四百七十八名で内本籍者一萬三千八百三十二名他は全部寄留者でこれを職業別にすると商業最も多く五千四百名農業一千三百四十三名公務自由業一千三百四十三名工業八百九十七名その他合計して有職者が九千五百六十

明日南町裡に

戦争其儘の

壯烈なる場面

警中發火演習は明日午前十一時から午後一時頃迄平町南町裡で盛んに銃火を交へ戦争其儘の壯烈なる場面を展開する筈であるが武器は機關銃二、小銃三百五十である

九名となり他は婦女子無職者となるわけである
四倉獵友山狩 四倉署管内好獵家からなる四倉

木賃宿に泊込んだ

金持ちの呑たくれ

怪しいと呪まれ平署へ

石城郡内郷村大字御所木賃宿越後屋へ數日前から相當の風采をして現金數十圓及二百圓餘の物品を携帶投宿し毎日大酒を呷つてゐる舉動不審の男があつたのを平署で探知し連行取調ると仙台市連坊小路生れ清水伸吉(三)と稱し實家の兄から貰ひ受けたものであると言つてゐるが怪しい點があるので指紋を取つて照會中

五萬圓寄附

小名濱町から

石城郡小名濱町で商港改修費の内三萬圓寄附すべき案のあつたとは既報したが縣當局から其後三萬圓では餘り低額にて五萬圓乃至十萬圓に増額すると不可能な



家庭欄

肝油の服み方

グイタミンAのものである肝油の服み方は今である一日四十グラムを運用する

指輪が怪し

窃盜が發覺

平警察署で窃盜被害者として召喚訊問中なりし石城郡飯野村上高久理髮業國井治右衛門(三)が男に似合はしからぬルビー入指輪をはめてゐるのひやかし半分に其出所を聞くに曖昧な答をするので不審を抱き更に取調ると遂に包み切れず去月二十五日當謙田遊廓萬歲樓

兎の耳

長野縣下伊那郡飯田町關口金次郎(三)

は先年妻に死に別れ娘花子(三)と淋しい日を送つて来たが團圓ささから二本松遊廓深川樓の抱え娼妓可祝(三)の許へ通ひつめ末は夫婦と約束したものが先たつものは金だが落籍する金の貯へなく悶々の日を送ると娘花子は父の思ひを

募集

文藝其他投稿を募集します

平町人事

出生
▲新川町六 新妻正夫氏二女キク
▲死亡
▲堂前一 馬目眞(五一)
▲八月見町三〇 山崎茂雄(二二)
▲白銀町當時瑞玉縣大宮町 高橋利技(二二)

吃音者の致命的な

苦惱は他人の嘲笑

來月一日から矯正會が

日本基督教會に開かる

來月一日から毎夜三週間南町裡日本基督教會に於て第二回吃音矯正會を催す筈にて講師は平窪村の松本晃一氏である因に同教會牧師中村月城氏は「吃音矯正に就て」と題して左記の原稿を本社に寄せられた

熱心に

引かれて賛助したといふに過ぎなかつたのであるか三週間の講習が終つて愈々卒業式といふので私も招かれて其席に列した。而して私は其成績に驚いた僅か三週間それも夜間の講習である。しかも卒業生は流るゝが如き雄辯をその體験を物語つてゐる。これが三週間前まで言語に不自由をした吃音者とういふ

て想像し得やうか併し事實は現前の

眞實で

ある然し私の胸の奥底を揺り動かしたものは講習會の成績よりも講習前の吃音者の苦惱のみであつた。知らなかつた私は全く彼等の苦惱を知らなかつた彼等は其の吃音ゆへに他人から同情されたことがあるか!!それは唯だの一度もない彼等が苦しげにどもる時人々はどつと笑つて嘲るのである。吃音者の不便不利益は言ふまでもないが彼等の致命的な苦惱は實に他人の嘲笑である

彼等が

社會に失望し人生に失望して死を願ふ

のに無理はない『私は幾度自殺をしようと思つたかしれません』との告白を聞いた時私は熱い涙の流るゝのを制止することが出来なかつた彼等に對する冷淡さを責められるやうにさへ私は

講習員

さへ眞面目で熱心でありさへすれば三週間の夜學で立派に矯正の目的を達することが出来る第二回講習會は來る十二月一日から開かれるが、教科書その他の準備の都合で、

靴泥が専門

餘罪ある見込

平町南町邊を不良を働きたが徘徊し平署に檢束された北田目町提燈金金子頼由(三)に就き取調を進めると同人は同町研町鈴木利士(三)假名と共に去月十三日白銀町白土自動車部運轉手塚原民平の赤靴(價格十七圓)及同十六日仙台市を徘徊中民家富守宅玄關先から同様靴(價格十四圓)を窃取してゐた罪狀判明したが餘罪もあるらしい

と肺核の進行をとめてしまふともいはれるほどその効は昔からである。

肝油はタラヤサメの肝臓からとつた魚油なので一種不快な魚臭が鼻につくが熱いみそをいれれば牛乳に浮かせて一氣にのむと樂に服める。口なほじにのものは焼のり鹽せんべい、たくあん

神經過敏の人は肝油ドロップスとか香りのいゝネーロール、メタヂェンなどで味を慣らしてから本もの、肝油に移るやうにするとよい。肝油を飲んでゐる時には酸味のある飲食物はいけない。